



保育を振り返ってみよう！

～むし歯予防編～

A…理解して十分に取り組んでいる C…理解が不足し十分に取り組んでいない
 B…概ね取り組んでいる D…取り組めていない

		A	B	C	D
むし歯予防	集会や遊びの中で、むし歯予防の重要性を子どもに知らせている				
	年齢発達に合わせて、ぶくぶくうがいや正しい歯みがきの方法を指導している				
	給食後に歯磨きを行っている（3歳児から）				

参考 → 「足立区教育・保育の質ガイドライン」 P45～47



保育を振り返ってみよう！

～食物アレルギー編～

		A	B	C	D
アレルギー対応	アレルギー対応マニュアルが整備されており、マニュアルに沿って対応している				
	調理・配膳・食事提供までの間に、二重三重でアレルギー対応の確認を行っている				
	誤食等の事故発生時の対応ができる				
	食材の除去や代替等について、保護者との確認を確実にしている				
	初めて食べる食材は家庭で試してもらい、問題がないことを確認してから給食で提供している				
	アレルギーのある子どもが疎外感をもつことなく、他の子どもと同様に楽しく食べることができるよう工夫をしている				

参考 → 「足立区教育・保育の質ガイドライン」 P45、48

記入日 年 月 日

		A	B	C	D
言葉	子どもが要求を身振り・指さし・言葉等で伝えようとする姿を丁寧に受け止め、心地よい声や言葉の響きに親しめるように、タイミングよく応答するようにしている				
	言葉にならない思いや話したいという気持ちを受け止め、子どもの思いを言葉にして返したり、言葉で確かめたりしている				
	言葉に親しみがもてるように、子どもが興味をもっている物の名前を伝えたり、簡単な言葉遊びや歌遊びを保育者と一緒楽しんだりしている				
表現	全身で感触を十分味わい、諸感覚を働かせられるように、豊かな自然、四季の変化、土や水などの様々な素材に触れる等の機会を保障し、子どもの感覚や感性を育むようにしている				
	保育者や友達と楽しく遊んだ遊びを繰り返し楽しめるように、玩具や道具などを用意し、必要に応じて保育者がモデルとなったり、友達のイメージを仲介したりしている				
	心地よい音楽や楽しいリズムに合わせて、思い思いに体を動かしたり歌を歌ったりする中で、自然と心が共鳴し、保育者や友達と一体感を味わえるようにしている				

参考 → 「足立区教育・保育の質ガイドライン」 P34



気づいたことをメモしておこう！



5領域で考える




保育を振り返ってみよう!

～2歳児の保育編～

A…理解して十分に取り組んでいる C…理解が不足し十分に取り組んでいない
 B…概ね取り組んでいる D…取り組めていない

		A	B	C	D
健康	体を動かす楽しさを感じられるようにしている				
	歩く、走る、よじ登る、飛び降りる等の動きが引き出せるように、遊具を工夫したり、園外での活動を取り入れたり等遊びを工夫している				
	手洗い・うがい・衣服や靴の着脱・排泄等生活に必要な活動を見守りながら自分でしようとする気持ちを大切にしている				
人間関係	気の合う友達と見立て遊びやつもり遊びを楽しめるように、素材や玩具等を複数準備している				
	甘えたい、依存したい気持ちを十分受け止め、自発性や我慢しようとする気持ちを支えるようにしている				
	気に入らないことを「イヤ」と否定したり、自分のやりたいことを主張する姿を受け止め、謝ることを優先させたり、不安定な気持ちを長引かせたりしないようにしている				
環境	ままごと道具や人形等を使って大人の生活模倣をしたり、積み木やブロック等での構成遊びをしたり、紙・粘土・布等の様々な素材に触れたり、クレヨン等を使って絵を描いたり等がじっくり楽しめるように、素材・玩具・道具等を十分用意して、遊びの場を工夫している				
	人形・ブロック・絵本等を子どもが自分で出して遊んだり区分して片付けたりできるように、物の置き場所を決め、片付けやすい場や分かりやすい表示を工夫している				
	身近な動植物に興味をもち関心を広げられるように、外遊びや散歩等の際に見たり触れたりする機会を大切にし、周囲のことに對して好奇心がもてるようにしている				

参考 → 「足立区教育・保育の質ガイドライン」 P35

 気づいたことをメモしておこう!

 5領域で考える


保育を振り返ってみよう!

～睡眠時事故防止編～

A…理解して十分に取り組んでいる C…理解が不足し十分に取り組んでいない
 B…概ね取り組んでいる D…取り組めていない

記入日		年	月	日	A	B	C	D
乳幼児突然死症候群の予防・睡眠中の事故防止	医学的な理由で医師からうつぶせ寝をすすめられている場合以外は、子どもの顔が見える仰向けに寝かせ、うつぶせになった場合はその都度体位を変えている							
	一人一人の専用布団を使用し、布団の周りにぬいぐるみ・ヒモ・ヒモ状のものを置いていない							
	睡眠時にカーテンは閉めない等、子どもの顔が見える明るさにしている							
	定期的に子どもの呼吸・体位・睡眠状態を観察し、睡眠時チェック表に記録している							
	子どもが睡眠している時は、必ず保育者が保育室にいる							
睡眠時に子どものスタイ（よだれかけ）を必ずはずしている								

参考 → 「足立区教育・保育の質ガイドライン」 P45、47

 気づいたことをメモしておこう!



保育を振り返ってみよう！～衛生管理編～



A…理解して十分に取り組んでいる C…理解が不足し十分に取り組んでいない
 B…概ね取り組んでいる D…取り組めていない

記入日 年 月 日

	A	B	C	D
保健（衛生管理・感染症対策等）に関するマニュアルが整備されており、マニュアルに沿って対応している				
季節に合わせた適切な室温と湿度を保持し、定期的に換気をしている				
タオルの共有はなく、個人用タオルはタオル同士が接触しないように掛けている				
歯ブラシは衛生的に取り扱い、歯ブラシ同士が接触しないよう保管している				
衛生 子どものプライバシー・衛生面・動線に配慮しおむつ交換の場所を決めている				
管理 消毒液（医薬品や医薬部外品であることが望ましい）は正しい用途で使用し、正確な希釈をしている				
吐物処理に必要な物品はすぐに取り出せるように準備されており、手際よく処理できている				
湿性生体物質（血液、喀痰、便等）に触れる時は、使い捨て手袋を使用している				
便のおむつ交換時は一人終了毎に手を洗う等、手洗いを励行している				
職員は健康診断を定期的に受診し、体調管理に努めている				

記入日 年 月 日

	A	B	C	D
言葉 周囲で起こる様々なことに関心を持ち、それらを真似したり言葉で表現したりしようとする姿を受け止め、子どもの伝えたい思いを言葉にしたり、状況を見ながら言葉をかけたりして、会話の楽しさを感じられるようにしている				
保育者や友達と一緒に絵本や紙芝居を見たり、手遊びや歌を歌ったりすることを繰り返し楽しむことを通して、言葉を使いたくなる気持ちを引き出すようにしている				
思ったこと、感動したこと等を自分なりの言葉を使って表現しようとする姿を認め、保育者がモデルとなり言葉の使い方を知らせていくようにしている				
表現 全身で感触を十分味わい、諸感覚を働かせる中で、条件によって水や土等の感触や性質が異なることに気付くように、環境を工夫したり保育者が働きかけたりしている				
身近に経験した出来事や生活の中で興味のあることを再現する遊びが展開できるように、子どものイメージが膨らむような物や道具を用意し、保育者や友達とごっこ遊びを十分楽しむようにしている				
歌を歌うことに親しんだり、歌に合わせて体や手指を動かして楽しんだりすることを通して、他者と気持ちが通じ合う喜びや、自分の思いを表現したいという気持ちがもてるようにしている				

(4) 教育・保育

参考 → 「足立区教育・保育の質ガイドライン」 P4 5～5 0

気づいたことをメモしておこう！



参考 → 「足立区教育・保育の質ガイドライン」 P3 5

気づいたことをメモしておこう！

5領域で考える



(4) 教育・保育

保育を振り返ってみよう!

～3歳児の保育編～

A…理解して十分に取り組んでいる C…理解が不足し十分に取り組んでいない
 B…概ね取り組んでいる D…取り組めていない

		A	B	C	D
健康	保育者や友達と体を動かす楽しさを感じられるようにしている				
	様々な動きが出来るように、遊具を工夫したり園外での活動を取り入れたり等、遊びを工夫している				
	様々な遊びに興味をもてるように遊具や用具の種類・数量を配慮し、使いたい物が自由に使えるようにしている				
	手洗い等清潔にすることの気持ちよさを知り、衣服の着脱等生活に必要な活動を自分からしようとする配慮や工夫をしている				
人間関係	友達がしていることに関心を持ち、友達と一緒に遊ぶことを楽しむように素材・材料・道具・遊具等を準備している				
	友達にも様々な思いがあることに気づき、自ら遊具や用具等の貸し借りをしたり、交代しようとしたりする等、一人一人の思いを受け止めるようにしている				
	クラスのみなどと一緒に過ごす楽しさを感じられるようにしている				
環境	身近な自然物、様々な素材、材料等に親しみ、五感を働かせて楽しむようにしている				
	形や大きさを意識して片付けられるように、片付けやすい場や分かりやすい表示を工夫している				
	飼育物や栽培物等に関心を持ち、世話をしたり触れたりすることに喜びがもてるようにしている				

参考 → 「足立区教育・保育の質ガイドライン」 P 3 6

 5領域で考える




保育を振り返ってみよう!

～子どもの健康編～

A…理解して十分に取り組んでいる C…理解が不足し十分に取り組んでいない
 B…概ね取り組んでいる D…取り組めていない

記入日 年 月 日		A	B	C	D
園児の健康	保健計画を作成して、ねらいや内容を踏まえて教育・保育を実施している				
	子どもの健康状況・予防接種歴・健康診断の結果・既往歴等を把握している				
	朝の受け入れ時や連絡帳で子どもの健康状態を日々確認している				
	子ども一人一人の生活リズムや体調を考慮し、睡眠・食事・遊びのバランスをとっている				
	定期的に身体測定を行い、発育状態を把握している				
	子どもに疾病や傷害が発生した際、状況に応じた対応ができる知識や判断力がある				

参考 → 「足立区教育・保育の質ガイドライン」 P 4 5～5 0

 気づいたことをメモしておこう!



保育を振り返ってみよう！

5歳児の食事の提供編～



A…理解して十分に取り組んでいる C…理解が不足し十分に取り組んでいない
 B…概ね取り組んでいる D…取り組めていない

記入日 年 月 日		A	B	C	D
5歳児	食事に合った食具（スプーン・箸等）を使えるようにしている				
	栽培・収穫・調理・食べるまでの流れが経験できる取り組みを実施している				
	楽しく食事をする中で、マナーを守ることや時間内に食べることを知らせている				
	旬の食材に触れる機会を用意している				
	食材の種類や体の中での働きを知らせ、食事と健康に関心をもたせている				

参考 → 「足立区教育・保育の質ガイドライン」 P41

気づいたことをメモしておこう！



記入日 年 月 日

記入日 年 月 日		A	B	C	D
言葉	安心して自分から保育者にして欲しいことや困ったことを伝えようとするができるように、言葉で代弁しながら思いを受け止めるようにしている				
	挨拶等生活に必要な言葉を進んで使おうとするように、保育者がモデルとなり言葉の使い方を知らせていくようにしている				
	絵本や紙芝居等の世界を繰り返し楽しめるように、時間的な余裕をもつとともに、場を工夫するようにしている				
表現	イメージを膨らませて見立てたりなりきったりして遊ぶ楽しさを十分味わえるように、素材や衣装等を用意し、保育者も仲間になり一緒に楽しむようにしている				
	音楽に合わせて歌を歌う、楽器を鳴らす等、音楽の楽しさを様々な方法で表現できるように工夫している				
	イメージしたことを絵に描いたり紙を切って貼ったりする等、様々な素材を使って繰り返し十分に楽しめるように工夫している				

参考 → 「足立区教育・保育の質ガイドライン」 P36

気づいたことをメモしておこう！

5領域で考える



保育を振り返ってみよう!

～4歳児の保育編～

A…理解して十分に取り組んでいる C…理解が不足し十分に取り組んでいない
 B…概ね取り組んでいる D…取り組めていない

		A	B	C	D
健康	保育者や友達と一緒に体を動かして遊ぶ楽しさを感じられるようにしている				
	跳ぶ、走る、登る、はう、投げる、スキップ、踊る等様々な動きを楽しめるように、遊具や用具を工夫している				
	戸外での遊びにおいても、遊びの中でイメージが実現できるように、遊びの拠点となる遊具や用具を用意している				
	うがい・手洗い・衣服の調節等の基本的な生活習慣について、子ども自身が必要性を感じながら身に付けていけるように配慮している				
人間関係	自分の思いを伝えながら相手の気持ちにも気付けるように、友達の思いを代弁したり遊びへの参加の仕方を伝えたりすることで、友達と遊ぶ楽しさを味わえるようにしている				
	友達とイメージを共有しながら遊ぶことを楽しめるように、素材・材料・遊具等を用意し、友達とのつながりを感じ、譲り合おうとする気持ちをもてるようにしている				
	友達やクラスのみなどと一緒に遊ぶ中で、みんなで楽しく遊ぶためのルールやきまりの必要性に気付けるようにしている				
環境	イメージを膨らませて遊びに必要な物を自分なりに考えて作ることができるように、様々な素材・材料・道具・遊具を用意している				
	生活や遊びの中で重さや硬さ等の物の性質や形に気付き、分類や比較ができるような遊びを取り入れている				
	生活や遊びの中で数や量に興味をもち、子どもの発見や気付きを広げられるような遊びを取り入れている				
	身近な自然や動物に興味をもち、保育者と一緒に見たり触ったり世話をしたりする中で、より親しみが感じられるようにしている				

参考 → 「足立区教育・保育の質ガイドライン」 P37

 5領域で考える

保育を振り返ってみよう!


～4歳児の食事の提供編～



A…理解して十分に取り組んでいる C…理解が不足し十分に取り組んでいない
 B…概ね取り組んでいる D…取り組めていない

記入日 年 月 日		A	B	C	D
4歳児	食事は準備に時間をかけすぎて待たせることのないように配慮している				
	嫌いな物は無理強いではなく、自ら食べることができるような言葉がけをしている				
	挨拶や姿勢等食事のマナーを知らせている				
	旬の食材に触れる機会を用意している				

参考 → 「足立区教育・保育の質ガイドライン」 P41

 気づいたことをメモしておこう!



保育を振り返ってみよう！ ～3歳児の食事の提供編～



A…理解して十分に取り組んでいる C…理解が不足し十分に取り組んでいない
B…概ね取り組んでいる D…取り組めていない

記入日 年 月 日		A	B	C	D
3歳児	子どもの状況に応じて待たせることなく食べ始めさせている				
	一人一人の発達に適した食器や食具（スプーン・フォーク・箸）、テーブル、椅子等を使用している				
	食事の始めと終わりの挨拶を指導している				
	落ち着いた雰囲気の中で食事ができるように、保育者はむやみに立ち歩いていない				

参考 → 「足立区教育・保育の質ガイドライン」 P41

気づいたことをメモしておこう！



記入日 年 月 日		A	B	C	D
言葉	保育者や友達との言葉のやりとりを楽しめるように、自分なりの言葉で表現している姿を認め、相手に伝わった喜びや言葉で伝える必要性を感じられるようにしている				
	生活に必要な言葉や、歌・絵本・紙芝居等の中で出てくる言葉に興味をもち、遊びに取り入れるように、保育者がモデルとなり言葉の使い方を知らせ、言葉の美しさや楽しさに気付けるようにしている				
	内容やストーリーを理解してイメージを膨らませられるように、保育者や友達と一緒に絵本や紙芝居等を楽しめる時間や多様な場をもてるようにしている				
	様々なものの音・色・手触り等に気付き、驚いたり感動したりしたことを言葉や動き、表情等で表現している姿を受け止め、子どもの変化に敏感に応答している				
表現	役になりきったりイメージを表現したりできるように、音楽や衣装等を子どもたちが自由に使えるように用意している				
	作ったり描いたりすることが十分楽しめるように、意欲やイメージが湧くような素材・材料を十分用意し、表現する過程を認めるとともに、必要に応じて使い方を伝えるようにしている				

参考 → 「足立区教育・保育の質ガイドライン」 P37～38

気づいたことをメモしておこう！

5領域で考える



保育を振り返ってみよう!

～5歳児の保育編～

A…理解して十分に取り組んでいる C…理解が不足し十分に取り組んでいない
 B…概ね取り組んでいる D…取り組めていない

		A	B	C	D
健康	友達やクラスのみなどと一緒に体を動かしたり遊びを工夫したりして、遊ぶ楽しさを感じられるようにしている				
	複雑な動きやダイナミックな動きを引き出し、体を動かす楽しさを感じられるように、ボールや縄等の遊具や用具を用意している				
	うがいや手洗い等の病気の予防や身の回りの始末、片付けの必要性を子ども自身が感じながら身に付け、見通しをもって行動できるように配慮している				
人間関係	共通のイメージや目的をもってグループの友達と遊びを進める楽しさを感じられるように、場や時間を十分確保し、設定や教材を工夫している				
	友達の良さに気付いたり相手の立場にたって考えたり、友達と力を合わせて競う楽しさや悔しさを味わったりできるように、グループやクラスでの活動を工夫している				
	自分のしたことの善悪やルールやきまりの必要性に気付き、どうしたらよいか考えられるように、一人一人の気持ちに寄り添い、子どもの思いや考えを引き出すようにしている				
環境	物の性質・仕組み・因果関係・法則に気付けるように、物の特性や自然現象を繰り返し試すことができる場を作り、発見したことを丁寧に受け止め、その結びつきが分かるように言葉をかけている				
	様々な図形・数量・文字に関心を持ち、日常生活の中で使ったり遊びに取り入れたりできるように、文字や数を使った掲示や時計等を置いたり紙や鉛筆・ペン等を用意したりしている				
	飼育物や栽培物の世話に気付き、自分でできることをしようとする姿を認め、動植物の成長をクラスのみならず共感できるようにしている				
	社会とのつながりや国際理解の意識が芽生えるように、伝統的な遊び・わらべうた・国旗等に親しむ中で、異なる文化に興味をもつ機会をつくるようにしている				

参考 → 「足立区教育・保育の質ガイドライン」 P38



保育を振り返ってみよう!

～2歳児の食事の提供編～



A…理解して十分に取り組んでいる C…理解が不足し十分に取り組んでいない
 B…概ね取り組んでいる D…取り組めていない

記入日		年	月	日	A	B	C	D
2歳児	基本は特定の保育者が、発達過程に合わせて少人数に対して食事介助をしている							
	食事は子どもの状況に応じて待たせることなく食べ始めさせている							
	ひと口の量は咀嚼や飲み込みの状況をみて知らせている							
	子どもの食べ方や様子が見えるようにそばにつき、出来るだけ立ち上がりせず、落ち着いて安全に食べられるように見守っている							
	一人一人の発達に合わせてスプーンやフォークを使い、自分で食べるように援助している							

参考 → 「足立区教育・保育の質ガイドライン」 P41、42



気づいたことをメモしておこう!



保育を振り返ってみよう！ ～1歳児の食事の提供編～



A…理解して十分に取り組んでいる C…理解が不足し十分に取り組んでいない
B…概ね取り組んでいる D…取り組めていない

記入日	年	月	日	A	B	C	D
1歳児	基本は特定の保育者が、発達過程に合わせて1対1あるいは少人数に対して食事介助をしている						
	食事は子どもの状況に応じて待たせることなく食べ始めさせている						
	食具（スプーン・フォーク）は子どもの手指や手首の機能発達を把握したうえで持たせ、状況に合わせて正しい持ち方を見せたり、言葉をかけていたりしている						
	咀嚼をしている時には、子どもの口の前に食具（スプーン・フォーク）を持っていかない						
	食事の途中で眠くなってしまったら無理に食べさせていない						
	食事が終わった子どもや次に食べる子どもの遊びの環境を工夫している						

参考 → 「足立区教育・保育の質ガイドライン」 P41、42

気づいたことをメモしておこう！



記入日 年 月 日

記入日	年	月	日	A	B	C	D
言葉	考えたことや疑問に思ったことを友達やクラスみんなに言葉で伝えようとするように、子どもの発言を肯定的に受け止め、何でも安心して言い合える雰囲気を作るようにしている						
	一人一人の興味や個人差に配慮しながら、友達との遊びや生活の中で文字を読んだり書いたりすることが楽しめるように、活動や設定を工夫している						
	絵本・物語・詩等に親しみ、言葉の美しさやリズム感等を味わえるようにするとともに、聞いていて心地よい言葉を使うことを子どもが意識できるようにしている						
表現	遊びの中で使う物を作ったり、イメージや本物に近づけた物を作ったりすることができるように、素材・材料・道具・用具を用意し、必要に応じて使い方や活かし方に気付くようにしている						
	友達と共通のイメージや目的をもって描いたり作ったりするように、思いや考えを友達に伝え合う楽しさを感じたり、友達の思いに共感したりできるように配慮している						
	イメージしたものを体の動きや言葉等で表現したり演じたりする楽しさを味わえるように、音楽・絵本・物語・詩等を用意し、遊びの中で必要に応じて使えるようにしている						

参考 → 「足立区教育・保育の質ガイドライン」 P39

気づいたことをメモしておこう！

5領域で考える




保育を振り返ってみよう！～食育の計画編～

A…理解して十分に取り組んでいる C…理解が不足し十分に取り組んでいない
 B…概ね取り組んでいる D…取り組めていない

記入日	年	月	日	A	B	C	D
食育の計画	乳幼児期にふさわしい食生活が展開されて適切な援助が行われるように、食事の提供を含む食育の計画を作成し、保育の計画に位置づけるとともに評価・改善に取り組んでいる						
	計画は柔軟で発展的なものであるとともに、0歳児から5歳児まで一貫性がある						
	食事摂取基準に基づき、子どもの発育・発達に合わせて栄養バランスが良い献立を作成している						
	年齢に応じてひと口目は野菜から食べる等、野菜を含む望ましい食習慣の定着に取り組んでいる						
	施設長・栄養士・調理員・保護者等が定期的に情報交換をし、連携して食育に取り組んでいる						

参考 → 「足立区教育・保育の質ガイドライン」 P40～44

 気づいたことをメモしておこう！




保育を振り返ってみよう！ ～乳児(0歳児)の食事の提供編～



A…理解して十分に取り組んでいる C…理解が不足し十分に取り組んでいない
 B…概ね取り組んでいる D…取り組めていない

記入日	年	月	日	A	B	C	D
乳児(0歳児)	授乳は子どもの顔を見ながら(気持ちを通わせながら)行っている						
	基本は特定の保育者が1対1で食事の介助をしている						
	食事は子どもの状況に応じて待たせることなく食べ始めさせている						
	子どもの正面に座り、子どもの食べる速さを見ながら(嚥下の様子を見ながら)食べさせている						
	ひと口の量は咀嚼や飲み込みの状況を見て加減している						
	咀嚼をしている時には、子どもの口の前に食具(スプーン・フォーク)を持っていかない						
	食事の途中で眠くなってしまったら無理に食べさせていない						
	保育者等が連携して食事をする子ども、遊ぶ子ども、眠っている子どもの対応にあたっている						
食事が終わった子どもや次に食べる子どもの遊びの環境を工夫している							

参考 → 「足立区教育・保育の質ガイドライン」 P40、42

 気づいたことをメモしておこう！

